

案件概要書

2012 年 11 月 20 日

国際協力機構東南アジア・大洋州部東南アジア第四課

1. 案件名（国名）

国名：カンボジア王国

案件名：国道 5 号線改修事業（中央区間：スレアマーム - バッタンバン間）

(National Road No. 5 Improvement Project (Middle Section: Thlea Ma' Am - Battambang Section))

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における運輸セクターの開発実績（現状）と課題

カンボジアにおいては、道路輸送は国内輸送の中心的役割を果たしており、旅客輸送の約 65%、貨物輸送の約 70%を占めている（2006 年、公共事業運輸省（Ministry of Public Works and Transport: MPWT））。また、カンボジアはタイ及びベトナムに挟まれ、アジア開発銀行（ADB）が主導する大メコン圏（Greater Mekong Subregion: GMS）開発プログラムにおける南部経済回廊の中央に位置し、地域的な物流の中継基地となることが期待されている。カンボジアの運輸インフラは 1991 年の内戦終了時から我が国や世界銀行（WB）、ADB 等国際社会の支援を得て修復が進められており、道路・橋梁インフラの基幹部分については修復・整備が一巡しつつある。ただし、内戦後の応急修復箇所の劣化や幅員不足等スペック不足の箇所があるため、今後のカンボジアの経済発展による国内・国際物流の増加に対応するためには既存道路の改修が課題となっている。

中でも国道 5 号線はカンボジアの基幹道路であるとともに、アジアハイウェイ 1 号線及び南部経済回廊の一部として、メコン地域の産業大動脈として機能することが期待されているが、本事業対象区間は、応急的な修復が行われてきているものの、道路の品質は低く、交通量も増加傾向にあり、今後のカンボジアの経済発展及び国内・国際物流の増加に対応するために、輸送能力の増強及び輸送効率の改善が喫緊の課題となっている。

(2) 当該国における運輸セクターの開発政策と本事業の位置づけ

カンボジア政府は「国家戦略開発計画 2009-2013 年」において、インフラの修復と整備を 4 本柱の一つに掲げ、交通網の拡充と複合一貫輸送ネットワークの形成を重点分野と位置づけている。2006 年に JICA の支援を得て作成された全国道路網マスタープラン（M/P）において、南部経済回廊の一部である国道 5 号線の整備は国家統合及び域内統合に資するとして、優先事業として位置づけられている。右 M/P を踏まえて、JICA は国道 5 号線改修に係る支援に取り組んでおり、バッタンバン-シソポン間（北区間）について協力準備調査を実施済みであり、プレックダム橋-スレアマーム間（南区間）について協力準備調査を本年 9 月より開始予定である。カンボジア経済発展のため、また、日系企業の物流改善のため、同道路をシームレスに改修することがカンボジア政府及び現地日系企業から強く望まれている。

(3) 運輸セクターに対する我が国の援助方針

運輸セクターへの支援は、我が国の対カンボジア国別援助方針の重点分野「経済基盤の強化」の「経済インフラの整備」に位置づけられる。JICA はこれまで、開発調査「カンボジア全国道路網調査」（2006 年）を実施し、無償資金協力で「国道 1 号線改修計画（1～3 期）」（2005-2010 年）、「ネアックルン橋梁建設計画」（2010-2015 年）を、また、技術協力で「建設の品質管理強化プロジェクト」（2009-2012 年）、「住民移転のための環境社会配慮能力強化プロジェクト」（2010-2012 年）を実施し、インフラ整備及び維持管理能力の強化に努めてきている。

カンボジア国道 5 号線は、AHN（Asian Highway Network）の一部を構成するもので、その改修事業は、連結性マスタープランの一環として行われ、累次の日 ASEAN 関連会議において、双方でその重要性が確認されている。本事業の対象は、このうち中央区間に該当する（北部区間及び南部区間は、既に協力準備調査を実施中）。

(4) 他の援助機関の対応

これまで JICA の他に ADB、WB が多くの協力を実施してきた。近時は中国による道路セクター支援が拡大している。

- ・ ADB : 「道路資産管理強化事業」(2008-2013 年)、「北西州道路改修事業」(2011-2013 年)
- ・ WB : 「州・地方インフラ改修事業」(2004-2010 年)、「道路資産管理強化事業」(2008-2013 年)
- ・ 中国 : 「ブラックダム橋建設事業」(2007-2010 年)、「国道 8 号線建設事業」(2007-2012 年)

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業は、首都プノンペンとタイ国境を結ぶ国道 5 号線のスレアマーム - バッタンバン間の既存の本線道路を改修することにより、同国道の輸送能力の増強を図り、もって物流の円滑化を通じてカンボジアの経済発展の促進に寄与するもの。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

プルサット州、バッタンバン州

(3) 事業概要（調達方法を含む）

- 1) 道路改修（橋梁拡幅含む）（スレアマーム - バッタンバン間：約 130km）
- 2) コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理、人材育成・組織強化等）（土木工事は国際競争入札、コンサルティング・サービスはショートリスト方式。）

(4) 事業実施体制

- 1) 借入人：カンボジア王国政府（The Royal Government of Cambodia）
- 2) 保証人：なし
- 3) 事業実施機関：公共事業運輸省（Ministry of Public Works and Transport：MPWT）
- 4) 操業・運営／維持・管理体制：MPWT

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：A

- ② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる道路セクター、及び影響を及ぼしやすい特性（大規模非自発的住民移転）に該当するため。

2) 貧困削減促進等：協力準備調査にて確認

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携：「住民移転のための環境社会配慮能力強化プロジェクト」（2010 - 2012）、「建設の品質管理強化プロジェクト」（2009 - 2012）の成果が活用される予定。

(7) その他特記事項：特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

過去の同国及び他国の道路案件の事後評価から、実施機関は、用地取得・住民移転に際し、住民との対話・接触が円滑に行われるよう、住民と実施機関との連携体制を構築する必要があるとの教訓を得ている。更に環境社会配慮ガイドラインに沿って、①再取得価格による補償、②住民移転計画作成時における事前協議及び情報公開、③移転住民の生活水準の改善・回復、④苦情処理メカニズムの整備等の措置がスムーズな案件実施のために重要との教訓も得られている。

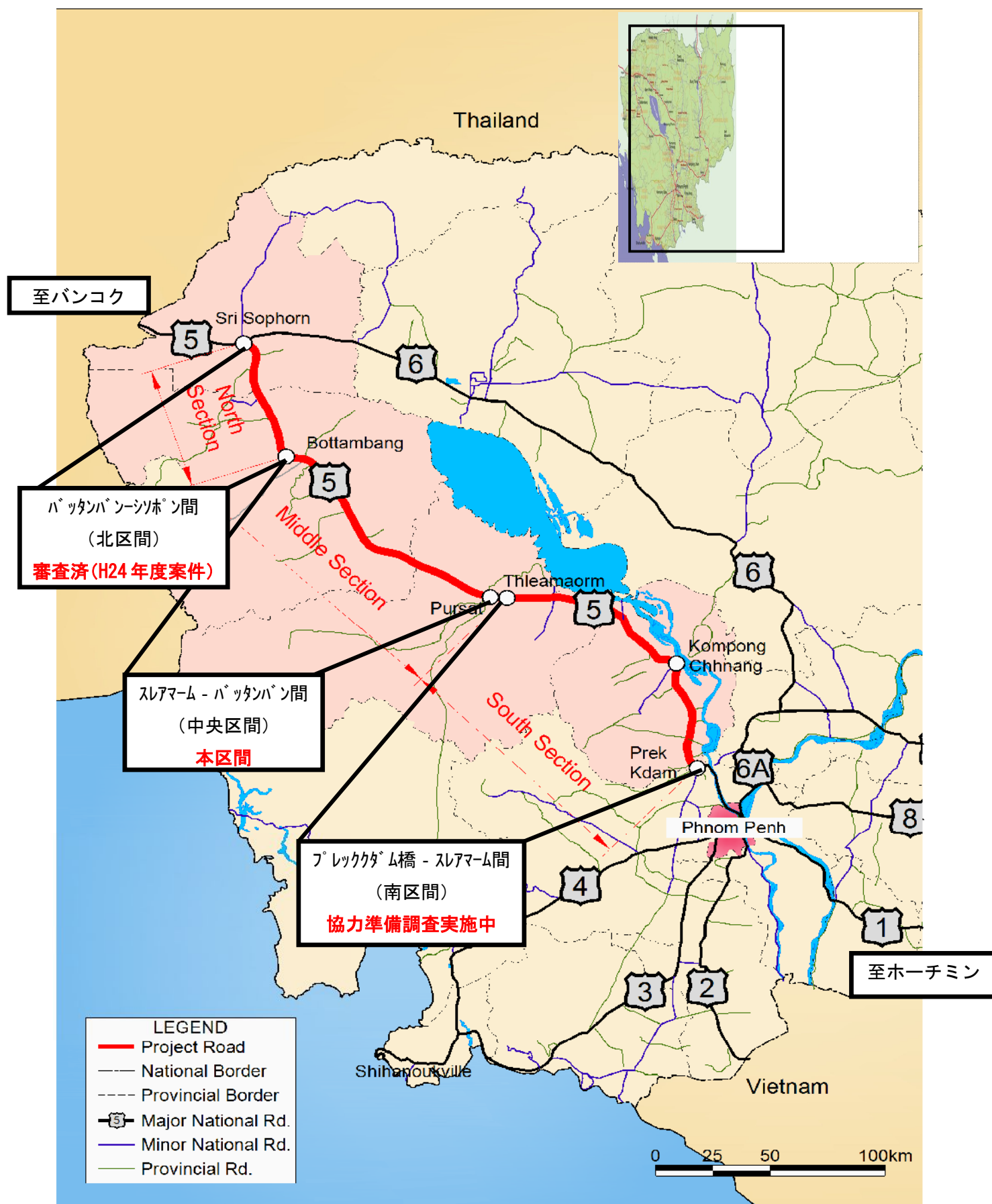
(2) 本事業への教訓

本事業でも用地取得・住民移転が必要と想定されることから、上記教訓を踏まえ、技術協力「住民移転のための環境社会配慮能力強化プロジェクト」（2010-2012 年）で作成された標準住民移転手順書に基づき、カンボジア政府による移転計画の策定、住民説明会の開催、苦情処理システムの確保を図り、環境社会配慮ガイドラインを確実に遵守する。

以 上

〔別添資料〕地図

カンボジア王国「国道5号線改修事業（スレアマーム - バッタンバン間）」地図



Location Map